令和５年　第１回　競技・ハンディキャップ委員会議事録

日　時：令和５年５月７日　11：00～12:30

①　競技・ハンディキャップ委員新任について

→宇井委員　　：2023 年 4 月より競技・ハンディキャップ委員就任
宇野委員　　：2023 年 4 月より競技・ハンディキャップ委員就任
永島委員　　：2023 年 4 月より競技・ハンディキャップ委員就任

③　レディース杯開催について

→髙梨委員より女性のみ参加の競技レディース杯を開催してみてはどうかとのお話があった。

⇒限られたプレイヤーしか参加しないので参加者が集まらないのではないかとの意見もあった。

■⇒結論が出ないため、継続審議。8 月の委員会に持ち越し。
天羽委員に女子研修会の方へのヒヤリングをお願いする。

④　競技予約方法について

→天羽委員より月例杯 A クラスの予約枠が少なく、予約を取りづらい状態にあるとお話があった。

⇒現状予約時に名前の登録をせずに予約枠をキープする方がいらっしゃる為、これを禁止し、予約の際には必ず名前の登録をするようにしていくべきではないかという意見があった。

■⇒予約の受付方法の変更をクラブ側で検討。

⑤　グランドシニア選手権参加資格について

→グランドシニア選手権に出場するための参加資格について競技参加回数やハンディキャップインデックスを制限するべきではないかという意見があったが制限を設けることによって参加人数が減少してしまう恐れがある為、2023 年グランドシニア選手権を全組キャディ付とし、様子を見ることとする。

■⇒2023 年の状況を担当の石田委員に報告していただく。

⑥　月例杯Ｃクラス新設ついて

→現状Ｂクラスの中でもレベルの違いが見受けられるのでティイングエリアを前にするなどしてＣクラスを新設するべきではないかという意見があった。

■⇒Ｃクラスを新設することによって進行の遅いプレイヤーや、ルールを理解していないプレイヤーが多く参加することが懸念される。
今後もＢクラス上位の方がリードすることによりＢクラス全体のレベルアップを図っていく。

⑦　プリファード・ライの必要性について

→プリファード・ライについてアマチュアの競技に必要なのか。
ボールを拭くなどの処置をする為、進行の遅延に繋がるのではないか。
他のクラブ競技でもプリファード・ライを採用していない。
プリファード・ライを認めるというのはゴルフの精神に反するのではないか。
特に Ｂ クラスの競技者で、プリファード・ライを採用していない時も常時リフトアンドクリーンを行っている方が見受けられる。ルールを理解していない競技者は戸惑っているという意見を吉田副委員長から頂いた。

■⇒結論が出ないため、継続審議。8 月の委員会までに各委員がヒヤリングを行い、それぞれ報告してもらい討議することとなった。

⑧　東コース 7H　左側の池に入った場合の処置について

→東コース 7H のティショットが池の方向に飛んでいってしまった場合、実際に池にボールが入ったかどうかが死角となり目視することが出来ない為、進行の為にもドロップゾーンを設けるべきではないかという意見を松本委員から受けた。

【◎決定事項】

➔現在東 7H ティイングエリアから池までの視界を遮っている木と雑草を取り除く対応をし、様子をみていく。
オフィシャルルール通りの処置を行うことを継続していく。

⑨　R&A 公式ゴルフ規則アプリについて

→JGA の HP から簡単に DL が可能なので使用してみる様､岡田委員長からお話があった。

※次回の競技・ハンディキャップ委員会は、2023 年 8 月 11 日（祝金）開催予定。

以上